

「建設業での女性活躍を支援するプロジェクト」

当調査会では、「建設業での女性活躍を支援するプロジェクト」として、女性職員を中心としたプロジェクトチーム（愛称“チームひまわり”）を立ち上げています。第20回目は、（公社）日本建築積算協会の女性の会『積女 ASSAL』を紹介します。

vol.20

せきじょ ア ッ サ ル 『積女 ASSAL』に 一度遊びにきませんか？ そして、何度でも遊びにきませんか？

積女 ASSAL 委員長
前田 伸子



「積女 ASSAL」

行動力 …… Action
体力 …… Strength
技術力 …… Skill
助言者 …… Adviser
女性 …… Lady

（公社）日本建築積算協会の女性の会なので「積女」とし、行動力、体力、技術力、助言者、女性の頭文字をとり、「ASSAL」と名づけました。女性が少ない業界において、行動力、体力、技術力のある「よき相談者・助言者」となり、建設産業（積算・コストを中心とした）で働く女性の交流の場づくり、女性のスキルアップの場づくりを提供していきます。もちろん新しく積女となられる方への応援の会でもありますし、男性の参加も大歓迎です。



設立

発足は、平成27年5月20日です。日本建築積算協会では、平成25年から委員会の中で、子育てしながら仕事をする方や、在宅で仕事ができないか等、女性特有の問題を話し合える場を提供し協力してサポートする会を発足させたいと提案があり、翌年の平成26年9月26日に「積女 ASSAL」の準備会が開催されました。その1か月前の平成26年8月22日、当時の太田国土交通大臣と建設業のトップが会談を行い、「5年以内の女性倍増」を目標に掲げる「もっと女性が活躍できる建設業行動計画」が、官民合同で策定され、活動の後押しを得られる時期でした。

最近では、建設産業で働く女性を取り巻く環境に少しずつ変化が表れてきています。以前は、個人の頑張りがよりどころでしたが、国土交通省が主体となり、組織体制づくりに発展のきざしが見えてきています。その中で、けんせつ小町、設備女子等施工を中心とした現場

技術者への注目度は高いですが、建築積算、見積への理解度が低いのが現状でした。

初年度の活動

最初の活動は、建築積算とはどのような仕事か理解を深めることから始めました。

「積女 ASSAL」の各委員がどのような仕事をしているかを通して理解を深めたいと思い、初年度は、冒頭の『「積女 ASSAL」に一度遊びにきませんか？』をキャッチフレーズに下記のテーマ別に茶話会（交流会）を計画・実施しました。

- ①積算の総論および数量積算方法
・積算とは？
・建具の拾いとは？
・内装の拾いとは？
・構造の拾いとは？
- ②内訳書作成およびコスト関連
・積算事務所とゼネコンのお仕事
・建物のコストを出すには
・少ない図面でコストをつかむ
- ③建築積算の周辺業務・技術の紹介
・設計事務所のお仕事

- ・BIMって、何だろう？
- ・CM(コントラクション・マネジメント)って何だろう？

はじめての試みでもあり、皆様にご参加いただけるか、不安でしたが、1回だけでなく、2回、3回と続けてご参加の方、東北・長野からご参加くださった方、発注者・設計事務所・積算事務所・学生・ゼネコンの方々、毎回会場が熱気にあふれていました。委員の日頃の仕事ぶりと熱意が伝わったようです。



今年度の活動

今年度は、初年度好評いただきました内容をブラッシュアップした企画、初年度にやり残した企画、持ち寄り交流会(Bring your own party)と働く環境のはなしを計画しました。

建設産業も働く環境に目が向けられている中、「日本一休みの多い積算事務所を創る」(時短労働に向けた取組)、「ワークシェアリングという働き方について」(短期正社員制度の取り入れによる労働効率向上)と、どちらも実践している話について発表があり、ご出席者の皆様から有意義だったと大変好評でした。

そして、持ち寄り交流会では、参加者全員が持ち寄ったプレゼントと選んだ理由のメッセージが読み

上げられました。思いを込めた品々とセンス光るメッセージで笑いの絶えない時間と空間でした。

エンブレム募集

更なる活動の活発化と交流の拡大や継続を目的とする「積女ASSAL」のシンボルマークとなるエンブレム募集をしました。多数のご応募をいただきました。ご応募作品は、どれも素敵な作品ばかりで一点に決めるには大変苦労しました。

来年度からの活用となりますが、この原稿が掲載される頃には、公表できていると思います。

メンバーの紹介

日刊建設工業新聞の「積女ASSAL だより」で昨年の10月から、メンバーの紹介記事が掲載されています。今後は、この活動にご参加いただきました皆様をご紹介予定です。

是非、一度ご覧ください。

- ①前田 伸子 三井住友建設(株)
- ②宮田 沙織 (株)川村積算
- ③東 聡子 (株)大林組
- ④櫻井 陽子 (株)日積サーベイ
- ⑤江藤 久美子 (株)NTTファシリティーズ総合研究所
- ⑥中島 春奈 (株)中野積算
- ⑦天野しのぶ (株)久米設計
- ⑧飯田 ルミ (株)日本設計
- ⑨松下 葉子 (株)日建企画
- ⑩田中 さやか (公社)日本建築積算協会
- ⑪家亀 まどか (公社)日本建築積算協会

- ⑫佐藤 千秋 日建設計CM(株)
- ⑬加納 恒也 (公社)日本建築積算協会



(メンバー写真 左上段から②～⑬)

東洋大学の特別講義での経験

「積算から広がる私たちの未来」というテーマで「建築積算講座」認定校である東洋大学川越キャンパスで平成28年6月3日の午後、浦江真人教授の授業枠の中で特別講義をさせていただきました。

積算分野からスタートし積算技術を核として活躍のフィールドを広げてきた体験と業務内容の説明と、「積女 ASSAL」の活動紹介、積算業務は女性に適した分野であるというメッセージを発信してきました。後半の「自分が目指す建築の仕事にコストがどう関わっていくのか」についてのパネルディスカッションでは、学生達の率直な意見を聞くことができました。この経験が29年度の活動計画「出前講座」へのキッカケとなりました。

勉強会の開催

第1回目の勉強会は、平成29年1月25日に国土交通省の日野悦子係長を講師としてお招きしました。

『「入札時積算数量書活用方式」ってなに?』、『堅苦しいけど、積女の仕事に関わりの深い公共建築工事の積算について一緒に学んでみませんか?』と募集しましたが、参加者の半数弱が男性だったのには、少し驚きました。

日野係長の講義は、同じ女性の視点からの講義で、きめ細やかでとてもわかりやすい説明でした。



支部における発足

28年度は、8月に東北支部、12月に関西支部で積女 ASSALが発足しました。東北支部では、技術向上目的の見学会等が積極的に実施されており、関西支部でも現在企画を準備中です。

29年度は、他支部発足を支援すると共に、今後は、全国の積女が集



えるような広がり期待して「積女 ASSAL」の全国大会開催も視野に入れていきたいと思えます。

女性会員数等

平成29年3月時点で、女性会員数は、下記の通りまだまだ少ないですが、今年度の建築積算士の東京受験会場では1/4が女性でした。在宅勤務の可能性も含めて、建築積算士は、女性に適した資格の一つではないかと思えます。

また、学生時代に建築積算士補の資格取得の上、一次試験免除で建築積算士にチャレンジしてみるのもいかがでしょうか?

- ・個人会員は、全体の約5%
- ・建築コスト管理士は、全体の約4%
- ・建築積算士は、全体の約7%
- ・建築積算士補は、全体の約30%

今後の活動予定

①出前講座の開催

建築積算への理解度を深めるため、学校への出前講座を積極的にを行う。各委員の経験を通して、積算・見積・コストについて理解・興味を持ってもらうための足掛かりとしたい。

②スキルアップの為の勉強会の開催

女性がもてはやされるいまだからこそ、地に足のついた実力が問

われる。少しでも役に立つ勉強会を開催していきたい。

③交流会(茶話会)の開催

- ・情報交換会の為の交流会
- ・持ち寄り交流会
(Bring your own party)
- ・参加者ご自身の仕事の説明会
交流会・勉強会等の後は、参加者同士の情報交換の場として、茶話会の継続開催予定。

会への思い

「積女 ASSAL」は、

- ①積算、見積、コストに少しでも興味をもってもらい、愛され、参加してもらえる会としたい。
- ②参加した一人、一人が「積女 ASSAL」で主役としてイベントで活動してもらいたい。
- ③集い(コミュニティ)を通して、情報のネットワーク化を創りたい。
- ④長く、継続性のある会としたい。
『継続は力なり』から『継続は絆なり』としたい。

最後に

積女ASSALは、積算技術者だけの集まりではありません。興味のある方々全てに「一度遊びにきませんか?」から「何度でも遊びにきませんか?」へと、そして、「あなたも自分の仕事を説明してみませんか?」「あなた自身が主役になってみませんか?」と呼びかけています。ぜひご参加を。

◎ホームページ

URL <http://www.bsij.or.jp>



三井住友建設 前川 伸子さん(積女ASSAL委員会委員長)

を語ることははばかれていましたが、
 現在は建設業もコストの透明性が求められ、コストへの重要性が高まってきています。少しでも興味のある方は、「どぞぞ積女ASSALの集い」に参加してみてください。もちろん男性も大歓迎です。

次回はまず図面から内装仕上げ、建具の数量拾いをしている「川村積算の宮田沙織さん」をご紹介します。楽しみに待っています。



=1=

集いにぜひ参加を

「昨年から「一度遊びにきませんか？」と、そして今年からは「何度でも遊びにきませんか？」と皆様にお声をかけさせていただいています。「積女って何？」「おもしろそう！」「一度遊びにきませんか？」なんて大人に「きいてみるの？」、そんなさまざまな声が聞こえてきそうです。

積女ASSALは、日本建築積算協会に所属し、建築積算に関わる仲間達の集いの場です。建築は「屋外現地一品生産品」で、主に設計(デザイン)、施工(技術)が建築積算(コスト)に影響されます。ともすると設計と施工が表舞台に立ち、建築積算(コスト)

2016年10月14日 014面 01版 No.04



みやた さずき 宮川 沙織さん(川村積算)

すが、想像を膨らませることに面白さを感じていて、建物が竣工したら想像と実物との答え合わせをするのが楽しみです。詳細部の知識を身に付けたい、立体を想像することが得意な方にはぜひ積算に挑戦してもらいたいです。

次回は大林組の東聡子さんを紹介します。



=2=

想像の世界に面白さ

意匠部に所属し、建具と内装の積算をしています。商業施設などの大きな建物を積算するので、一つの物件を複数人で拾います。仕事量は男女間に差がなく対等で居心地も良く、仕事のペースをつかんだことで日程調整ができるようになったので、メリハリのある生活を送っています。

積算には知識とチームワークが必要なので、不明な点は「調べ」「先輩に聞く」などして解明し、先輩が尋ねやすい雰囲気づくりを意識しています。図面から空間を捉えるのは困難で

2016年10月28日 010面 01版 No.03



ひがし ともこ 東 聡子さん(大林組)

置する重要な業務です。女性には最適な仕事だと思えます。で、技術を身に付けたい方は、ぜひ積算という職種を選択肢に加えて下さい。また、建築積算士・建築コスト管理士という専門資格もありますので、積算の輪を広げていきましょう。

次回は日積サーベ이의櫻井陽子さんをご紹介します。



=3=

積算の輪を広げよう

入社以来積算業務に携わり、現在は外注数量積算管理業務を担当しています。積算の魅力とやりがいをお伝えするために、積算業務は長年の業務経験により図面の読解力が身に付いて、担当物件の概要、主要部分を理解することができるところです。携わった物件が完成し、実際に建物を訪れることができ、その建物が町の景観の一部として長く溶け込んでいってほしいと願っている自分があります。

図面から数量を拾い出し、内訳明細書を作り上げる積算は、建築コストを算出する根幹に位

2016年11月18日 024面 01版 No.03



さくらい ようこ 櫻井 陽子さん(日積サーベイ)

も必要だと思っています。建具であれば用途に応じて必要となる性能を理解できるようになり、仕事の楽しさを感じました。幅広く建築の知識をつけたいと思う人に興味を持っていただければと思います。

次回は「NTTファシリティーズ総合研究所の江藤久美子さん」をご紹介します。



=4=

建築の知識広げる楽しさを

入社以来、建具の拾いを主に、最近では内装の拾いを行っています。入社当時は男性ばかりの中で仕事を任せていただきましたが、近年は女性の人数が増え、ほぼ半数となりました。現在、入社3年目でまだ覚えることが多くありますが、女性だからというものはなく、能力に応じて仕事を任せてもらっています。

業務では、学校や病院を積算することが多く、用途に応じて必要となる性能も理解しなくてはなりません。そのため、積算基準だけでなく施工などの理解

2016年12月09日 012面 01版 No.04

ただ、実際はBIMによって積算やコストマネジメントがうまくいっている例はまだあまりありません。その原因を探り、課題を解決するために、積算やコストマネジメントについて勉強しているところです。私は他のメンバーのようにコストの専門家ではありませんが、BIMの活用によって少しでも業務効率化のお手伝いができたら良いなと思っています。

次回は「中野積算の中島春奈さん」をご紹介します。

BIMでお手伝いを

えとう くみこ 江藤 久美子さん(NTTファシリティーズ総合研究所)



5

社会人になってから、これまで建築に関わるさまざまな業務に携わってきましたが、現在はBIM(ビルディング・インフォメーション・モデリング)の推進を主に担当しています。

BIMを活用すると、関係者間で建物のいろいろな情報を共有することができ、それによって設計のフロントロワーディングを実現することができると言われています。これはコストマネジメントの川上化やコストの透明化、ライフサイクルコストの最適化にも有効だと思っています。



2016年12月16日 012面 01版 No.04

構造積算は、決して目立つ存在ではないと思います。しかし、建物が完成するまでの過程に必ずかわる大切な存在で、無くてはならないのだと感じています。これからも一つ一つの経験を大切に知識を深め、成長していきたいと思えます。構造積算というものを少しずつでもたくさんの方に興味関心を持って頂けるようになればと思います。

構造積算の面白さ

2017年01月13日 012面 01版 No.05

中島 春奈さん(中野積算)



入社以来、構造積算課に所属し、構造関連の数量積算業務を担当しています。構造積算で数量を算出するものは、建物が完成してから実際に目で見ることが難しいものが多数です。このため、詳細を理解するには時間がかかりますが、これまで得てきた知識を基に、頭の中で想像し、組み立てて行くことに面白さを感じています。



=6=

然るに身に付くからです。設計を担当するより多くの案件を見るチャンスもあります。昔から経理を担当する女性が多いです。建築は職種が多岐にわたりますが、中でも積算という業務は数字を扱うため、女性にも向いていると思います。数字嫌いではないければトライしてみてください。頭の中で建物を構築しながら拾うのはパズルを解くようで面白いですよ。

パズル解く楽しさを

2017年01月27日 018面 01版 No.06

天野 しのぶさん(久米設計)



現在は、設計事務所です。コストマネジメントを担当していますが、最初の建設会社で積算の拾いを習得し、次の建設会社で値入れ・見積書作成の一端を担い、現在に至っています。最初の建築へのアプローチが積算だったこともあり、建物を理解するのは数量の拾いが一番だと思っています。数量拾いはたくさんの方の図面を見て進めるため、図面を読む力が必



7

建築は一品生産、一つとして同じものはありません。同じ条件もなく、担当する全ての物件でさまざまな学びがあると考えています。積女ASSALでの活動を通じて多くの皆さんとの出会いによってたくさんの方の刺激を受けています。「積算」を通して、これからも多くの人の絆を大切にしていきたいです。技術者集団である積女ASSALに、興味を持って頂ければ幸いです。

技術者集団に興味を

2017年02月10日 016面 01版 No.03

飯田 ルミさん(日本設計)



入社以来、積算関連の業務に携わり、現在はコストマネジメント業務を行っています。いろいろなことを積算を通して学んできました。積算の奥深さ、積算という幹から広がるさまざまな世界に魅了されています。



8

内、社外、個人それぞれの場面で日常にかかる費用にも細かい部分で計算し、コスト意識を高めることが重要と考えています。当社は、Vお客様へ業務をさせていただいている感謝の気持ちVお客様さまに対する気配り・目配り・心配りをする事V仕事をするとすることは修行であるVこの3点を忘れずに日本建築積算協会の会員として精進したいと考えています。

気配り・目配り・心配りを

2017年03月17日 016面 01版 No.03

松下 葉子さん(日建企画)



日本建築積算協会の積女に所属し、会社では代表を務めています。建築積算とは、建築にかかるコストの算出をわりわいします。お客様の工事にかかるコストを取り扱わせていただいているため、社員は皆、社



=9=

年明けの1月には「積女 ASSAL 委員会」主催の勉強会「『入札時積算数量書活用方式』ってなに？」を開催しました。女子会主催の勉強会でしたが、申込者の半数が男性ということに(笑)。

興味を持ってもらえる活動に

2017年03月31日 024面 01版 No.04

たなか 田中 さやかさん(日本建築積算協会)



日本建築積算協会 女性の会
Action 行動力 Strength 体力
Skill 技術 Adviser 助言者
Lady 女性

今回は事務局からのメッセージをお届けします。2014年度に女性技術者で構成する「積女 ASSAL 委員会」を発足させ、当初は本部と関東支部を拠点として委員会活動を行ってききましたが、今年度から東北支部・関西支部と各地でも初会合を開きました。



=10=

資格試験でも女性の受験者の方が年々増えていて、積算業界の「女子力」を感じます。この勢いそのまま、さらに協会活動を通して「女子力」を盛り立てていきたいと思っています。

「女子力」盛り立てていきたい

2017年04月07日 012面 01版 No.04

かめい 家亀 まどかさん(日本建築積算協会)



日本建築積算協会 女性の会
Action 行動力 Strength 体力
Skill 技術 Adviser 助言者
Lady 女性

日本建築積算協会関東支部の事務局として、主に入門教室、積算学校、講習会などの事務を担当しています。入局当時は、講習会や教室に参加される方も男性が大半だったのですが、近年は女性の参加が増えており、入門教室や積算学校は受講生の3分の1ほどが女性になりました。



=11=

とがあります。建築積算とは、建築の上流から下流まで、社会にとって価値ある建築物を残すための、いわば建築物生産活動の基幹なのです。

過去の物件巡りが楽しみ

2017年05月12日 012面 01版 No.04

いしひら 石井 芳野さん(大林組)



日本建築積算協会 女性の会
Action 行動力 Strength 体力
Skill 技術 Adviser 助言者
Lady 女性

入社以来10年、積算業務に携わり、産休・育休を挟んで今、再び数量算出を担当しています。復職時には受け入れてくださった職場の皆さんに感謝するとともに、専門性の高い積算業務にあって、プランクを経てなお職責を果たせるだろうかとの不安がありました。そのため、一から積算を学び直し、気付いたこ



=12=

では意匠や構造など幅広い知識を問われるため、初心者の私が積算の考え方を学ぶにはとても効率的な方法でした。講習会にも参加する機会があり、積算の知識だけでなく働き方について先輩方のお話を聞くことができました。

楽しく情報を共有

2017年05月26日 012面 01版 No.03

こんの 今野 亜紀さん(あすなる建築事務所)



日本建築積算協会 女性の会
Action 行動力 Strength 体力
Skill 技術 Adviser 助言者
Lady 女性

昨年の4月に新卒として入社し、現在は主に建具の積算をしています。大学では心理学を専攻していたため、入社当時は積算の知識が全くありませんでした。そこで仕事を通して経験を積むだけでなく、積算士試験を受験するという目標を立てました。試験



=13=

ちよくにに応じた手法があります。いずれの場合も、一つのプロジェクトの建設コスト算出には積算部内、設計、作業所、営業、積算事務所、専門工事業者など社内外の多くの人が関わっていて、いろいろな業種の方々の会話やつながりの中から、たくさんのことを学ぶことができます。幅が広く奥が深い積算は、大変なこともありますが、さまざまな新しい出会いがあり、成長し続けることができる。そんな魅力ある仕事です。

幅が広く奥が深い仕事

2017年06月02日 014面 01版 No.03

たけうち 武内 忠美さん(大成建設)



日本建築積算協会 女性の会
Action 行動力 Strength 体力
Skill 技術 Adviser 助言者
Lady 女性

積算部で概算積算を担当しています。積算するプロジェクトは規模も用途もさまざま、情報量の少ない計画段階では坪単価や過去データからの類推、図面枚数の多い基本設計段階では数量×単価の積み上げなど、プロジェクト進



14

や関連部門との連携など、多面的なスキルを必要とします。困難な場面も多いですが、1人で1物件の見積書を作り上げるこの仕事には、とてもやりがいを感じています。

これまでの実務経験から数量算出でもコストを意識することが重要で、数量算出と値入の信頼し合えるパートナー関係が正当な金額の算出を促し、引いては業務の効率化も図れると思っています。コスト部門に興味を持ってもらい、女性が活躍できる場がさらに増えることを願っています。

(次回はヤマウラの吉村保奈美さんを紹介いたします)

やりがいある値入業務

2017年06月09日 012面 01版 No.03



かわはた ぶん (大林組)
河保 文さん

入社当初に配属された積算課で仕上数量算出業務を経験し、図面を読む力が身に付きました。その後、値入支援という立場で概算数量算出を専門に担当。それをきっかけに、現在は見積課で値入業務を担当しています。値入業務は物件ごとにさまざまな見積条件の下での確かな判断力を要し、専門業者



=15=

入社した時は建築の知識は全く無く、ゼロからのスタートでした。まだまだわからないことが多いですが、日々の業務の中で先輩方にアドバイスを受けたら、建設現場への視察で分かることが増えてきたりして、楽しく仕事をしています。

一昨年から参加している積女の交流会は、同業の女性たちの仕事に対する熱意に触れられ、パワーをもらえる場所です。これからはASSALを通じてたくさん「積女」に出会えることを楽しみにしています。

(次回は日本設計の鈴木由香さんを紹介いたします)

交流会はパワーをもらえる場

2017年06月23日 014面 01版 No.02



よなむら ほんなみ (ヤマウラ)
吉村 保奈美さん

ヤマウラは長野県のゼネコンで、2020年には創業100年を迎えます。

4月で入社3年目となり、積算チームで商品住宅の見積作成や積算事務所から納品されたデータのチェック業務などを行っています。文系出身だったため、



=16=

一口に概算やコストコントロールといっても、手法やアプローチの仕方が一つではなく、自分なりの工夫ができるのも楽しいと思います。もちろん、厳しい場面も多くありますが、やりがいのある仕事だと思っています。

なかなか女性の活躍が難しいと思われる建築業界ですが、積算やコストという分野は柔軟性のある女性が活躍しやすい場面かも知れません。当社でも最近では女性率が高まっています。

(次回はアーキ・ピーアンドシーの室井理乃さんを紹介いたします)

工夫できるのも仕事の魅力

2017年07月14日 014面 01版 No.04



すずき ゆか (日本設計)
鈴木 由香さん

コスト設計部で企画段階から内外のさまざまなプロジェクトに関わっています。社内の他のセクションや施工、施工者、メーカーなどのさまざまな人と協働できること、多くのプロジェクトに色々な形で携われることが、設計事務所でのコストの仕事の魅力だと思います。



=17=

り、図面だけでは分からないことが理解できるようになり、さらに知識を深めることができていると思います。

積算という知名度が低いように思いますが、当社では女性社員が年々増えています。さらに積女ASSALを通じて多くの女性が積算業務の中で活躍していることを知りました。女性が活躍できる仕事「積算」に少しでも多くの方が興味を持っていただけるとうれしいです。

(次回はアーツコンサルタントの小室直美さんを紹介いたします)

新しいことを学べる環境

2017年07月21日 012面 01版 No.03



むらい なる (アーキ・ピーアンドシー)
室井 理乃さん

入社1年目は建具、2年目以降は外装、現在は7年目で内装の積算をしています。

図面からいろいろなことを読み解く難しさを感じながらも、一つの部門にとどまらずに新しいことを学んで行ける今の環境が、とても良い刺激になっています。担当した物件の現場を見学させて頂く機会があります。実際に目で見て触れることによ



=18=

昨日、建設業界も女性進出が進んできましたが、まだまだ少ないのが現状です。

そんな中、ASSALのイベントでさまざまな分野で活躍される女性を目の当たりにし、背筋が伸びる思いでした。

「女性のロールモデルが見つからない」「交流会に興味はあるけど一歩踏み出せない」という方、まずはASSALの無料イベントに参加してみてください。強くなるとともに働く女性たちから良い刺激がもらえますよ。

(次回は「エーシーエ設計の岡本佐和子さん」を紹介いたします)

一緒に良い刺激を

2017年08月25日 010面 01版 No.03



こむろ なおみ (アーツコンサルタント)
小室 直美さん

マンションの大規模修繕に関するコンサルティングや、それに伴う積算業務を行っています。修繕工事の積算は新築とは違い、既存の建物を調査した上で数量を算出します。図面には表されていない部分も多く、日々発見があり、楽しく業務を行っています。



=19=

「喜ばれる建築の実現」という最終目的に向けてのツールとして、積算業務を通して身に付けたコスト感覚を設計と監理に役立てることが重要です。建築のスキルの中で積算の良いところは数値化して語れる点です。これは外付より内蔵していた方が技術者として幅が広がるのではないのでしょうか。

喜ばれる建築の実現へ

2017年09月08日 012面 01版 No.04

設計・作業所・積算事務所・専門業者といった社内外の組織全体を見渡す目。そして「魚の目」のように、社会情勢を常にキャッチし、物価変動や今後の建設業界を取り巻く環境について先を見通す目です。

「三つの目力」を大切に

2017年09月22日 012面 01版 No.05

今は実際に現場に行って作業を見学しながら、理解を深めるようにしています。今後は営業時代の経験を活かした積算ができるようになれたらいいなと思いつつ、今はひたすら図面とにらめっこの日です。

先輩から勇気もらえる機会に

2017年10月06日 016面 01版 No.04

ちに建物の要点をつかむ力が付いていったように感じます。施工のことは、社内はもとより工事業の方々に直接教えてもらい、2年目には構造積算担当者として、物件を任せてもらえるようになっています。6年目の今は仕上積算に挑戦中で、まだまだ学ぶことがありません。

技術を身に付ける場に

2017年10月27日 012面 01版 No.04

ためか、既存運用中の改修工事を担当することが多く、利用者への影響が最小限となる仮設計画をお客様から求められます。

知識習得へ現場訪問を

2017年11月17日 016面 01版 No.04

岡本 佐和子さん(エーシーエ設計)



日本建築積算協会 女性の会
Action 行動力 Strength 体力
Skill 技術 Adviser 助言者
Lady 女性

—20—

現在、建築設計事務所で自社設計物件の積算監理を担当していますが、お客様の大切なお金と夢を扱う大勢の中の一人、そして市井の一人という感覚を失わないように戒めながら取り組んでいます。

「1億ぐらい、予算オーバーしているよ!」。



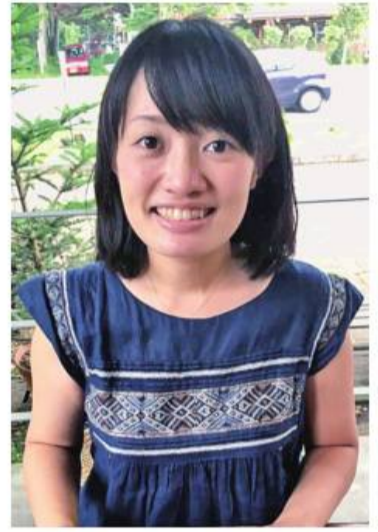
坂上 菜奈子さん(大成建設)



日本建築積算協会 女性の会
Action 行動力 Strength 体力
Skill 技術 Adviser 助言者
Lady 女性

—21—

概算仕上げ積算に9年携わった後、現在はプロジェクトの川上段階で過去案件のデータ分析に基づく超概算積算を担当しています。



古畑 しおりさん(大洋建設)



日本建築積算協会 女性の会
Action 行動力 Strength 体力
Skill 技術 Adviser 助言者
Lady 女性

—22—

数年間の建設請負営業を経て昨年、積算部に異動しました。恥ずかしながら、営業時代の知識では全然足りず、現在もひたすら勉強の日です。転職で現在の会社に来ましたが、建築とは無縁の仕事でしたので、図面を読み込むことの難しさを日々痛感しています。



平間 えり子さん(安藤ハザマ)



日本建築積算協会 女性の会
Action 行動力 Strength 体力
Skill 技術 Adviser 助言者
Lady 女性

—23—

現在、建設会社で構造積算を担当しています。数量拾い以外にも、施工方法や材料納期などについて工事業者と打ち合わせをしたり、足場や山留めの計画をしたりもします。



上田 幸奈さん(NTTファシリティーズ)



日本建築積算協会 女性の会
Action 行動力 Strength 体力
Skill 技術 Adviser 助言者
Lady 女性

24

コスト設計担当として、主に官庁物件の積算を行っています。積算は会計法や公共建築工事積算基準といった各種基準の理解のほか、仕様や工法・工程など幅広い知識が必要な業務であると日々実感しています。



チームワークがとて大切な
で、構造、意匠、値入のそれぞれの
担当者と連絡を取り合いながら、
社内全員が一丸となって仕事に取
り組んでいます。
第1回長野地区の積女ASSAL
への参加は、同業者でありなが
ら、なかなかつながりを持ってい
いた女性の方々の出会いは良い
経験となり、積女として頑張っ
ている皆さんの活躍は刺激や励み
になりました。ASSALでの出会
いや刺激などを糧に積女として成
長していきたいと思っています。
(次回は「総合積算の松澤留衣
さん」を紹介いたします)

坂本 典子^{さん} (江島積算)



「数字に違和感のない方」。こ
の求人広告に引かれ、積算の右も
左も分からないままの入社でした
が、まず内装から始まり、意匠全
般を教わり、現在は主に外装の積
算を担当しています。図面を解説
し、迅速かつ正確に数量を算出
しなければならぬ難しさと奥深さ
に勉強の毎日です。



出会いや刺激を糧に成長

—25—

2017年12月08日 012面 01版 No.03

概算積算は建築計画の根幹を担う重
要な業務です。
建築全般の幅広い知識を必要とし、
用途や規模によって必要な機能や予算
が異なるため過去の実績を検証した
り、価格推移を予想したりなど、幅広
い視野で業務に取り組んだりしようと
意識しています。
現在は産休・育休を経て、限られた
時間の中で業務ですが、積算は工夫
次第で効率化を図れるため、結婚や出
産などのライフイベントによって働き
方の変化が余儀なくされる女性には魅
力的な仕事だと思っています。
(次回は「東京日積の安永依子さん」
を紹介いたします)

松澤 留衣^{さん} (総合積算)



入社以来、外装の積算を担当し、現
在は概算積算も担っています。外装は
建物のイメージに直結する上、積算し
た結果が分かりやすいのが魅力です
が、コストに大きく影響することも多
く綿密さが求められます。



働き方の変化に柔軟な職場

—26—

2018年01月12日 012面 01版 No.05

産休、育休を経て昨年5月に時
短勤務で復帰しました。積算事務
所に勤務して20年、産休前は躯体
仕上げの拾い以外に、物件の総括
もしていたため突発的な残業もあ
りました。午前9時~午後4時の
時短勤務が可能なの不安の中の
復帰でした。復帰後は幸いにも、
会社から全面的に協力をしてもら
い、必ず複数人数での業務に配置
してもらったり、私の勤務時間に
合わせて打ち合わせの時間を変更
してもらったりしています。現在
は半年がたちますが、無事に継続
できています。
積算業界も女性は結婚や出産と
同時に退職する方が多いですが、
今まで培ってきた技術を眠らせて
しまつのはもったいないと思いま
す。積算は建築積算士や建築コス
ト管理士などの資格も取れ一生続
けられる仕事です。今後、業界を
挙げて働き方改革を推進してもら
い、現実的に女性が長く働ける仕
事になることを願っています。
(次回は「縁・仙台事務所の伊
藤香さん」を紹介いたします)

安永 依子^{さん} (東京日積)



産休、育休を経て昨年5月に時
短勤務で復帰しました。積算事務
所に勤務して20年、産休前は躯体
仕上げの拾い以外に、物件の総括
もしていたため突発的な残業もあ
りました。午前9時~午後4時の
時短勤務が可能なの不安の中の
復帰でした。復帰後は幸いにも、
会社から全面的に協力をしてもら
い、必ず複数人数での業務に配置
してもらったり、私の勤務時間に
合わせて打ち合わせの時間を変更
してもらったりしています。現在
は半年がたちますが、無事に継続
できています。
積算業界も女性は結婚や出産と
同時に退職する方が多いですが、
今まで培ってきた技術を眠らせて
しまつのはもったいないと思いま
す。積算は建築積算士や建築コス
ト管理士などの資格も取れ一生続
けられる仕事です。今後、業界を
挙げて働き方改革を推進してもら
い、現実的に女性が長く働ける仕
事になることを願っています。
(次回は「縁・仙台事務所の伊
藤香さん」を紹介いたします)



女性が一生続けられる仕事に

27

2018年02月09日 014面 01版 No.03

新卒で入社後、福岡の本社で
7カ月の研修を経て、地元の仙
台で積算業務に就いて4年目と
なります。内部セクションを主
に担当しています。まだ先輩所
員の指示を仰ぎ、業務に従事し
ていますが、後輩社員も入社し、
当時の自分と重なる部分も多く
アドバイスなどもできるような
になりました。当初は震災復興に
関する物件もありましたが、近
年は震災復興物件が減り、一段
落したのかなと感じています。
同期入社した社員は、研修後、
全国で活躍していますが、コミ
ュニケーションアプリのLINE
Eでつながっており、近況報告
を取り合い、1年に1度の社員
総会で集合し絆を強めています。
仕事は忙しく大変な時もあり
ますが、なんとか頑張ってい
こうと思います。今後は積算士
取得にも挑戦し、技術力を高め
ようと考えています。
(次回は「鈴木建築設計事務
所の奥原由美子さん」を紹介し
ます)

伊藤 香^{さん} (縁・仙台事務所)



新卒で入社後、福岡の本社で
7カ月の研修を経て、地元の仙
台で積算業務に就いて4年目と
なります。内部セクションを主
に担当しています。まだ先輩所
員の指示を仰ぎ、業務に従事し
ていますが、後輩社員も入社し、
当時の自分と重なる部分も多く
アドバイスなどもできるような
になりました。当初は震災復興に
関する物件もありましたが、近
年は震災復興物件が減り、一段
落したのかなと感じています。
同期入社した社員は、研修後、
全国で活躍していますが、コミ
ュニケーションアプリのLINE
Eでつながっており、近況報告
を取り合い、1年に1度の社員
総会で集合し絆を強めています。
仕事は忙しく大変な時もあり
ますが、なんとか頑張ってい
こうと思います。今後は積算士
取得にも挑戦し、技術力を高め
ようと考えています。
(次回は「鈴木建築設計事務
所の奥原由美子さん」を紹介し
ます)



積算士取得に挑戦

28

2018年02月16日 012面 01版 No.03

建築には今の事務所に入社して
初めて関わりました。何の知識も
ありませんでしたが、事務所の
方々に図面の見方や構造図の書き
方、構造積算について教えていた
だきました。3年ほど前に積算士
の資格を取得するため、積算士試
験を受験しました。資格を取得し
たことでちょっぴり自信が持て、
一層責任を持って仕事をしなければ
と感じています。
東北支部の積女ASSALの会
合に初めて参加させていただいた
ときには、周りの方々のパワーに
驚きました。女性ならではの悩み
や仕事への意欲などを聞いてよい
刺激を受けました。
事務所には若い年代の所員が増え
ましたので、積算に関心を持って
もらえるようになりたいと考えて
います。これからも講習会や勉
強会に参加し、所員の皆さんに伝
えていきたいです。
(次回は「久米設計の山之口知
江さん」を紹介いたします)

奥原 由美子^{さん} (鈴木建築設計事務所)



建築には今の事務所に入社して
初めて関わりました。何の知識も
ありませんでしたが、事務所の
方々に図面の見方や構造図の書き
方、構造積算について教えていた
だきました。3年ほど前に積算士
の資格を取得するため、積算士試
験を受験しました。資格を取得し
たことでちょっぴり自信が持て、
一層責任を持って仕事をしなければ
と感じています。
東北支部の積女ASSALの会
合に初めて参加させていただいた
ときには、周りの方々のパワーに
驚きました。女性ならではの悩み
や仕事への意欲などを聞いてよい
刺激を受けました。
事務所には若い年代の所員が増え
ましたので、積算に関心を持って
もらえるようになりたいと考えて
います。これからも講習会や勉
強会に参加し、所員の皆さんに伝
えていきたいです。
(次回は「久米設計の山之口知
江さん」を紹介いたします)



若い世代の力に

—29—

2018年03月30日 016面 01版 No.03

仕事は、発注者や設計者の意図を受け止める共感が求められます。技術を身に付けば出産や育児によるブランクも埋められますし、打ち合わせなどの回数が少なく、スケジュール管理がしやすいので、柔軟な働き方が可能などメリットは数知れずあります。子育て中でも一担当者としてたくさん物件に携われるのはとても楽しいです。もっと女性が増えて働きやすい環境を整えば、なお良いと思います。積女ASSALの今後の活動に期待しています。
(今回は「総合積算の品田和美さん」を紹介しします)

柔軟な働き方が可能

2018年05月25日 010面 01版 No.04

山之口 知江さん(久米設計)

現在は、コストマネジメントを担当しています。積女ASSALに参加させていただいて、積算に関わる女性がこんなにたくさんいるのかと驚きました。積算は女性に向いている仕事だといわれることが多いですが、仕事を続けられていることを私自身が考えてみますと、月並みですが、やはり周りの方々の協力が一番大きいからだと思います。
あえていうならばコストという



-30-

経験年数を重ね、単に数量拾いだけではなく、規模や用途の違い建物ごとのコンクリート・型枠・鉄筋・鉄骨・土量のバランスを把握できるようにもなります。近年、当社もそうですが、ASSALを通じて本場に女性が増えているのを実感しています。男社会といわれてきた業界の中でも、皆さんが大いに活躍していますし、今後もっと同業者としてのつながりが広がると思います。
(今回は「日積サーベイの村上 祐紀さん」を紹介しします)

人とのつながりが広がる場

2018年06月08日 014面 01版 No.04

品田 和美さん(総合積算)

積算業務に携わり、9年目を迎えました。当初から構造積算を担当しています。建築業界の中でも積算という仕事はとても地味なイメージですが、設計・施工の仕事に比べて数多くの物件に携われることができるのが何よりも醍醐味(たごみ)だと思います。また、年間にたくさん物件の図面を見るため、知識や図面を読む力が身に付くペースも早いように感じます。



=31=

があります。想像することで建物全体を捉えている楽しさがあると思っています。
現在は主に内装を担当しています。一つの部位にとどまることなく、さまざまな部位も経験させてもらえる環境は、とても刺激的だと思っています。まだまだ新しく知ること、覚えることがあります。分からない部分は調べたり、先輩に聞いたりして建築的知識をこれからも深めていきたいと思っています。
建物の詳細まで知識を身に付けたい人、数字を扱うのが好きな人、集中して物事に取り組みたい人はぜひ積算という職種を視野に入れてほしいです。
(今回は「総合積算の小崎紀子さん」を紹介しします)

建築的知識を深めていきたい

2018年07月06日 010面 01版 No.03

村上 祐紀さん(日積サーベイ)

入社1年目は建具、2年目から徐々に内装の積算に取り組み、現在4年目を迎えるようになっています。大規模物件を積算することが多いため、1人ではなく複数人で拾いを行います。まだまだ知識不足なところがあり、先輩方に助けていただきながら積算を行っています。内装の積算では、表面に見えるものだけでなく詳細部の納まりなど、建築の知識がとても重要となります。直接現場を見るわけではなく、図面にも記載されていないところまで納まりを理解するのは難しい部分



-32-

いざ外装担当になってみると、もともと建物を見るのが好きだった私にとってほとんども興味深い分野になりました。
どのような職種にもいえることですが、積算でいえば「この材料なんだろう」「どうやって納まっているんだろう」といったように、自分の仕事に興味を持つことが大切だと思います。
外に出れば皆さんの建物があり、家の中にも床と壁の取り合いがある。そんな小さなことにも興味を持つことができれば、苦手なことも得意になる日が来ると思います。
(今回は「日積サーベイの中道 美香さん」を紹介しします)

苦手なことも得意になる日が来る

2018年07月20日 010面 01版 No.03

小崎 紀子さん(総合積算)

積算事務所で外装拾いを担当しています。現在の職場に来るまでは内装拾いを担当していましたが、外装には苦手意識があったため、チャンスがあったにも関わらず、それを避けていました。



33

はありませぬ。そういった用途ごとの違いについて、設計者がどういった意図で「この建具をこの場所につけているのか」「なぜ、この仕様なのか」などを疑問に持ち、その答えを考へることで、積算基準には載っていない施工上の知識も図面から学ぶことができる業務であると思ひます。

また、積算して導き出された数量に、実際に自分が拾った部位がどれだけの金額がかかるものなのかを知ることができるのも、積算ならではの特徴です。特に建具は全体の工事金額に対する比率が多いため、コストの重要性を感じる機会が多々あります。コスト感覚を身に付けたいと思つ方にはぜひ挑戦していただきたいと思ひます。

(次回は「大旗連合建築設計の野口美保さん」を紹介しします)

コスト感覚が身に付く仕事

2018年08月10日 012面 01版 No.04

中道 芙美香さん (H積サーベイ)

昨年4月に入社して以来、主に建具の積算を行っています。大学では建築について学んできましたが、積算という業務自体は入社して初めて経験しました。業務では公共建築物である庁舎や学校、工場などを積算することが多いのですが、建物の用途によっても求められる建具の性能・仕様が異なり、学ぶことも多いです。積算とは、設計図面に載っているからその通りただ拾えばよいというもの



—34—

人がいることを知りました。そんな人々とコミュニケーションを図れる場所として、ASSALは活用できると感じています。建築業界はとて幅広く、好奇心を持って取り組めば無限に広がる世界です。ASSALが多くの人と関わるきっかけとなつても良いと思ひます。育児や家事など、女性同士の方が気兼ねなく話せるという方もいるかもしれませぬ。

私の仕事は積算業務ではありませんが、ASSALは設計に必要な積算知識をメンバーに教えていただける場所であり、自分自身の仕事環境を客観的に見つめ直す場所にもなっています。

(次回は「戸田建設の渡邊尚子さん」を紹介しします)

必要な知識を学べる場

2018年08月31日 010面 01版 No.04

野口 美保さん (大旗連合建築設計)

現在の設計事務所に入社して、20年がたちました。学生の頃から憧れた設計という仕事に携わり、現在でも学びの多い日々を過ごしています。社会の建築情勢や知識、また女性が働く環境、仕事内容について社外から情報を得られると思ひ、積算協会をはじめ、その他団体に所属しています。

入社した当時を思つと、女性のスタッフもずいぶん増えたと感じる一方、女性の中にもさまざまな



—35—

積算業務は、設計・施工・施工図作成業務とは異なり、目に見えて形に残るものではありません。しかし、形にしていくなか、必要不可欠で重要な業務だと感じています。

まだまだ女性の割合が少ない建設業界ですが、徐々に女性も活躍できる環境に変わってきています。そこで「建築」に少しでも興味をお持ちの方、現在「建築」に携わっておられる方、一緒に建設業を盛り上げていきませんか。まずは軽い気持ちで「積女 ASSAL」のイベントにぜひとも参加してみてください。

(次回は「岡田積算建築設計の三島涼子さん」を紹介しします)

形にするための重要な業務

2018年09月21日 020面 01版 No.03

渡邊 尚子さん (川建設)

積算課に異動となり2年。積算事務所から受領した数量などの確認や自身で図面から数量の拾い出し、そして内訳書の作成・まとめ。また、専門工事業者から見積もりを徴集し、施工性、周囲の環境などを考慮した上で、過去の類似物件との比較も加味し、個別に金額の折衝を行い、物件に合った業者の選定と金額決定をすることが現在の業務です。



—36—

分をこなせばいいだけでなく、全体を見るようになって、図面の方や、仕事に対する意識も変わったように思ひます。積算を始めて10年以上たちますが、まだまだ学ぶ事がたくさんあると日々痛感しています。

昨年度から、中国四国支部の積女 ASSAL の立ち上げにも関わらせていただき、貴重な経験に感謝するとともに、他社の女性との出会いが刺激となっています。女性技術者が増え、より良い環境で働いていけるようになればいいと思ひます。

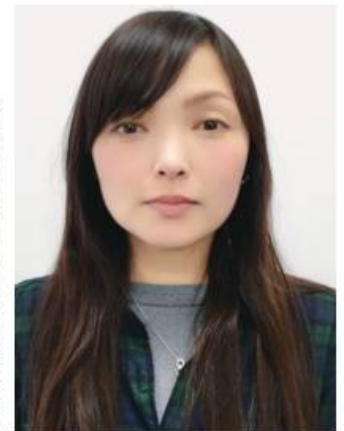
(次回は「日本建築積算協会中国四国支部の松木麻美さん」を紹介しします)

他社の女性との出会いが刺激

2018年11月02日 010面 01版 No.04

三島 涼子さん (岡田積算建築設計)

積算事務所得意匠の積算をしています。新築・改修・解体とさまざまな物件に携わらせていただき、物件ごとに、図面を読み解く力が必要になってきます。また、各担当者との情報供給が結果につながり、より良い計算書が出来上がります。年数とともに立場も変わり、自分の持ち



—37—



松本 麻美さん(日本建築積算協会中国四国支部)



日々の業務は会計から支部報の作成、講習会開催時の事務など多岐にわたります。積女ASSALの設立によって女性が事務局に所属しただけで機会が増え、他団体の女性部会の関係者からイベント共催のお声掛けをいただき、その活動が徐々に広まっていることを実感しています。

しても有益と思えるイベント、活動を実施できればと思っています。女性の社会進出が進む現代では、女性が社会で働く立場や形態も多様化し、苦勞されている方は多いと推測されます。首都圏と地方都市圏ではその状況や悩みが異なる面もあるのではないのでしょうか。積女ASSAL中国四国で開催する交流会やイベントを、技術的なことや育児、家事のことを気軽に話せる場にしていきたいと考えています。

気軽に話せる場に

2018年12月14日 014面 01版 No.04



竹内 あさみさん(二葉積算名古屋支社)



入社当時は建具の拾いの作業から始まり、現在では主に内装の拾いを行っています。建築の専門学校を卒業しましたが、入社当時は分からないことがばかりで、学生時代に学んだ知識はほんの一握りで

しかないことを実感しました。現在は入社2年目になり、当時からより知識は増えましたが、まだまだ学ぶことが多く勉強の日々です。しかし、知識が増えていくにつれ、今までは違った視点から建築を楽しむことができるようになり、より一層建築に興味を湧くようになりました。

違った視点で建築を楽しむ

2018年12月21日 024面 01版 No.04



横山 林緒さん(碓氷建築積算事務所)



私はこの会社に入ってから1年半がたちます。業務は躯体をやっています。1年前は積算の仕事はおろか、建築関係の仕事も初めてでした。ですが、先輩方に丁寧に教えていただきながら少しずつではありますが、作業を進めていけるようになりました。

や作業自体細かくて集中力が必要な仕事だということが分かりました。会社で積算の業務を行っている女性は私だけですが、一人ということに苦に思ったことはありません。先輩方は優しく話しかけて下さいます。

女性に積算業務の魅力を

2019年01月25日 012面 01版 No.04



廣島 希衣子さん(二葉積算名古屋支社)



構造担当で鉄骨の積算をしています。鉄骨の積算をやる人は少ないようで、担当させて頂いてありがたいと思います。積算に携わり2年目ですが、まだまだ分からないことも多いです。鉄骨のことなら安心して任せられると思ってもらえるように技術の向上に努めています。

昨年8月に開かれたASSAL東海北陸の会合は2回目の開催で、さまざまな積算に関わる女性と交流を持つことができ、とても良い機会になりました。個人的には普段なかなか業務で社外の方と関わることがないため、積算や建築に関わる女性との出会いはとても貴重です。

楽しく情報共有

2019年02月22日 014面 01版 No.04



古宮 英子さん(梓設計)



現在、組織設計事務所でもコストマネジメント業務を行っています。仕事上で座右の銘としている言葉は、「Foul and fair is fair」ということです。さまざまな意識があるようですが、コストのみならずマ

ネジメント、すべての事象には絶対的な正解がなく、プロジェクトやシーン、KPI(重要業績評価指標)ごとに何が正しいかは変わるものだと解釈しています。コスト分野は、その変わりゆくさまざまな事柄に柔軟に対応ができる女性向けの業務だと思っています。近年は社内、部内だけでなく社外でも建築に携わる女性が増え、女性の活躍の場が広がっていると感じています。その中でもコスト分野にチャレンジしてみたいと考える方々が増えることを願っています。

変化に柔軟に対応

2019年03月15日 014面 01版 No.04



鳴田 下奈さん(梓設計)

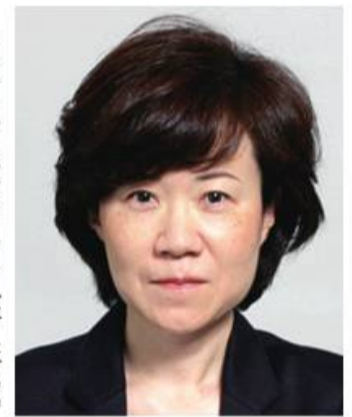
設計課題を毎週提出する学生生活の中で、設計業務よりも生産系の現実的な視点に重要性和魅力を感じました。

設計事務所のコスト関係業務を担当して6年目になりました。就職前はコスト感覚を持った知識に富む姿が理想と考えていました。仕事を通じて設計や積算事務所の



方どの意思疎通を大事にし、発言に自信(力)を込めて周りに働き掛けるマネジメント力が重要と感じるようになりました。複数の業務が同時に進む中で状況を把握しながら効率良く仕事をしていくため、女性の器用さが生かせる職業だと考えます。

器用さ生かせる職業



酒井 友子さん(三菱地所設計)

コストマネジメント室に所属しプロジェクトの企画から着工まで、建築コストにかかる業務に携わっています。大学は文学部でしたが入社時に設計部門へ配属され、次第に積算データの管理を任



されるようになりました。建築知識を身に付けて建築士、積算士などの資格も取得しました。現在はさまざまなプロジェクトを担当しており難しいことも多くありますが、常に新しい学びがあり成長する機会があります。

発注者の真の要望を具現化



坂寄 啓子さん(三井住友建設)

普通高校卒業の私が入社以来、見積部に所属し2級・1級建築士、建築積算士と建築コスト管理士の資格を取得できました。見積チームとして物件をまとめられるようになったのは、良き指導者に出会ったからです。建築と見積もりの業務を一から教えて頂き、仕事に対する常に前向きな姿勢を学ぶことができました。さまざまな物件



を経験できた点も大きな支えと原動力になっており、心から感謝しています。

後進育成し恩返し



渡辺 明恵さん(NEO積算事務所)

札幌のNEO積算事務所では建具を担当しています。このたび積算ASSALの北海道部会長をさせて頂くことになりました。なかなか携わる女性の数が少ない建築積算で、女性同士のつながりに少しでも役に立ち、これから成長していく若手の皆さんに対し、いろいろな先輩方の仕事の経験などを伝



えて頂く機会が増えればとの思いで活動したいと思っています。

知識を積み上げていく面白さ



現在入社5年目になりますが、構造から始まり意匠まで一通り数量拾いを任せてもらっています。大学では建築を専攻していましたが、積算については軽く触れるだけで実際は、勤務している会社の実習へ行くまで積算という業務を知りませんでした。

しかし、積算に携わってから図面からは知り得ない多くの情報と向き合ううちに、建築という分野の中



日本建築積算協会 女性の会
Action行動力 Strength 体力
Skill 技術 Adviser 助言者
Lady 女性

で積算がいかに重要で大切な業務なのかを実感するようになりました。

積算業務は平面だけの世界ではなく、平面から立体的に頭の中で創造しながら数量を拾うことはとても困難です。設計者さんの意図を読み取ることも大変難しいですが、物件をこなす上で得た知識や創造力などを働かせて積算をすることにとってもやりがいを感じます。

建築の設計は設計者による無限の可能性がありますが、その可能性を形にする上で私たち積算士は非常に重要な立場にいると考えます。なかなか表に出ることのない「積算」とはどのような業務なのか世間にはあまり認知されていないとは思いますが、縁の下の力持ちとしてこれからも積算業務に従事し続けていけたらと思います。

(今回は「三井住友建設の小林宏美さん」を紹介します)

積算は「縁の下の力持ち」

2019年12月13日 014面 01版 No.04



10年間携わった仕上げ数量の積算業務で建築の基礎を学び、その後、値入れから仮設、経費に至る物件を一人でまとめ上げる見積もり業務(精算・概算)に就きました。建築物に一つとして同じものはありません。さまざまな物件を担当し、悩み、そして解決していくことで知識の幅を広げていきました。理解ある上司にも恵まれ、



日本建築積算協会 女性の会
Action行動力 Strength 体力
Skill 技術 Adviser 助言者
Lady 女性

現在は見積もり部で管理職に就いています。女性も十分に実力を発揮し活躍できる建築業界に変わってきています。

「興味を持って経験していく」ことが成長することと考えます。いろいろな職種の方と話しをしたり話題の建物を見学したりすることも、とても良い刺激になると感じています。たぐさんの事を経験してください。見積もりマン、積算マン(建築積算士)の地位向上を常に願っています。

(今回は「川村積算の宮田沙織さん」を紹介いたします)

興味を持って成長

2020年01月17日 012面 01版 No.05



入社して2年間建具を経験し、3年目の現在は内装を担当しています。内装は他の部位に比べて範囲が広く、物件によって材料や納まりも異なります。初めて担当した物件では分からないことが多く、円滑に作業が進められず不安でした。しかし、内装はチームで作業を行うため、周りの人と協力できる環境が心強かったです。積算は並行して何物件もこなすこと



日本建築積算協会 女性の会
Action行動力 Strength 体力
Skill 技術 Adviser 助言者
Lady 女性

ができます。短期間で一つずつできるようになり、自分の成長を感じています。積算業務は実際に現場を確認できるわけではありません。このため、建物全体から細かい納まりまで設計図書から読み取らなければいけません。

正確なコストを算出するため、設計者の意図を踏まえ考えながら積算していくことがやりがいにつながっています。集中して取り組める人と柔軟に物事を考えられる人は積算に向いていると思います。建築の知識を幅広く身に付けたい人や、コスト感覚を会得したい人も積算業界を視野に入れていただければと思います。

(今回は「隆工務店の篠田順子さん」を紹介いたします)

設計者の意図踏まえ積算

2020年02月14日 010面 01版 No.04



「ASSAL九州」は関東に遅れること2年、2018年から委員6人で年2回の勉強会を目標に活動しています。

私は積算事務所18年間、数量拾いから値入までを勉強させていただきました。自分では描けないであろう建築物の図面を見させていただき、予算のすり合わせの会議などにも参加させていただいた



日本建築積算協会 女性の会
Action行動力 Strength 体力
Skill 技術 Adviser 助言者
Lady 女性

ことは、大変貴重な経験となりました。現在は小さな工務店で積算、リフォームなどの現場管理をさせていただいております。

「ASSAL九州」では積算に携わっている女性にかかわらず、どなたでも参加できる勉強会を開き、多方面の知識の習得を目指しています。机上だけでは行き詰まってしまうことも、外に出ていろんな立場の方と話をすることで開けていくことも多々あります。皆さんも気軽に参加されてみませんか。

(今回は「縁の武下記子さん」を紹介いたします)

多方面の知識を習得

2020年04月03日 012面 01版 No.04



建具は入門編となるセクションです。建具寸法はすべてのセクションに関連するため、正確さと気配りが必要となります。積算は女性らしい細やかな気遣いが生かせる業種です。積算の楽しさはパズルのように1を分解し、再度積み上げて1に戻すこと。たくさん建物の図面を見ることができ、実際に立ち上がった建物を目にし、図面との違いを探し楽しむもあります。

パズルのような楽しさ

(今回は安森積算の「安森絵美さん」を紹介します)



日本建築積算協会 女性の会
Action 行動力 Strength 体力
Skill 技術 Adviser 助言者
Lady 女性

武下

記子(縁)

学校を卒業後、積算の世界に進みました。設計に憧れた時期もありましたが、現在も変わらず積算に携わっています。会社では生産管理部に在籍し、積算基準や業務内容の説明、指導、書類作成や管理、若い方のサポートなどに携わっています。主に建具を担当しています。

出てくるので、我慢して考えないようにしていたほどです。仕事が終わってからは業者の友人に話を聞いたり現場見学に行ったりしました。趣味の世界ではありますが、今思えばこの課外授業が積算の理解に大いに役立つと思っています。一度覚えてしまえば在宅という働き方をしやすい積算は、女性にもお薦めの職種です。会社としても多様な働き方を受け入れられるよう、日々模索していきます。

多様な働き方が魅力

(今回は「九鉄工業の木部幸さん」を紹介します)

安森 絵美(安森積算)



日本建築積算協会 女性の会
Action 行動力 Strength 体力
Skill 技術 Adviser 助言者
Lady 女性

夫が積算事務所を開業する時に一から積算を学びました。それから積算に15年携わり、現在は経理や社員の労務管理を行っています。積算を始めたころの私は好奇心の塊でした。例えば「スロープのコンクリートはどうして流れていかないのだろう」など、業務とは直接関係ない疑問が次々と湧き



積算から離れてからの方が、役割の重要性に気付くことができました。一つの建物が出来上がるまでに、たくさんの方がさまざまな立場で関わりますが、どの立場も無くてはならない役割を担っていると思います。どの役割をすることになって、自分の携わった建物が出来上がる喜びを感じられるよう、これからも真摯(しんし)に仕事に向き合っていきたいです。

出来上がる喜びが魅力

(今回は「日本建築積算協会九州支部の外園美智子さん」を紹介いたします)

木部 幸(九鉄工業)



日本建築積算協会 女性の会
Action 行動力 Strength 体力
Skill 技術 Adviser 助言者
Lady 女性

入社後1年ほど積算業務に従事しました。その後施工管理を経て、現在は意匠設計をしています。自分が積算で関わった現場に施工監理として配属された時は、答え合わせをするようにドキドキしたとともに、積算のミスが現場に与える影響を痛感したことを覚えています。



設備・積算女性技術者組織も始動

技術向上へ見学会なども企画

意見交換通じ環境改善策等探る



設備女子会近畿エリア

国土交通省が女性技術者の登用促進・育成による魅力的な職場環境の創出を促し担い手の育成・確保を目指した施策を展開する中、土木技術者女性の会が一般社団法人として本格的な活動を展開、業界各分野でも女性技術者組織の設立が相次ぐ。関西では建築設備技術者協会近畿支部（小林陽一支部長）の設備女子会近畿エリアや日本建築積算協会関西支部

（阿波野昌幸支部長）の積女ASSAL（アッサル）関西が活動を始めた。

設備女子会近畿エリアにはゼネコンや設計事務所、設備工事会社、メーカーなどの女性技術者が参加。13年10月に初の交流会を開き、15年10月には第1回講演会と第3回交流会を開催した。講演会では東畑建築事務所の弓崎幸治監査役（当時・執行役員）が同社の永田久子執行役員設備設計室長（同・設備部長）の活躍と同社の変化などについて、安井建築設計事務所の小林陽一環境・設備部部长は設備技術者を取り巻く課題や課題解決に向けた展望などについて説明。パネルディスカッションでは発言者が所属する各社の実情などを語った。「今秋にも見学会を開く予定」（小林支部長）だ。

積女ASSAL関西はゼネコンや設計事務所、積算事務所などの女性らで16年12月に活動を開始。積女ASSALは15年5月、同協会女性会員を中心に発足。行動力（Action）、体力（Strength）、技術力（Skill）のある「よき相談者・助言者（Advisor）」となる、建設業で働く女性（Lady）が交流しスキルアップを図る取り組みを展開している。関西では今月15日に第2回会合を開き意見を交換。「女性技術者は重要な戦力。今後、見学会の開催なども検討することになる」（生島宣幸協会会員委員長）という。



積女ASSAL（アッサル）関西